

数学

神戸大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間

80分

解答問題数

3題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

昨年に続き今年も積分法からの出題がなかった。

証明が出題された。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	高次方程式 微分法	数学Ⅱ 数学Ⅱ	3次方程式。 極値。3次方程式の異なる実数解の個数。	標準
2	式と証明	数学Ⅱ	小数部分に関する論証。背理法。	標準
3	確率 三角関数	数学A 数学Ⅱ	三角関数により定まる2点に関する確率。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年は数学ⅠAⅡBCの各分野からまんべんなく出題されているため、各分野をバランスよく学習すること。さらに過去問の研究を通して融合問題もよく出題されるから、しっかりと対策をする必要がある。